

## 第2節 環境情報の収集・提供

## 1 科学的調査研究と技術開発の推進

県では、衛生環境研究センターを中心として、大気汚染や水質汚濁等について、監視・調査等を行うほか、他の公設試験研究機関と協力して環境分野の調査研究を進めています。環境分野の調査研究は、

対象となる範囲が広く、また短期間では成果を出しにくいことから長期的な視点で行う必要があります。

表6-2-1 公設試験研究機関と協力した環境分野の調査研究

|                                                                                                 |                                                                              |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| <b>(1)衛生環境研究センター【環境政策課】</b><br>大気や河川・湖沼・海域および地下水等の環境汚染の発生や拡大を防止するための測定や調査研究、環境関連技術の開発           |                                                                              |
| ○白色腐朽菌を用いたダイオキシン類低減化に関する研究<br>(実証化試験)<br>【平成23～25年度】                                            | 毒性が高く難分解性物質のダイオキシン類について、白色腐朽菌の分解酵素を利用した、低コストで環境負荷の小さな分解処理技術を研究しています。         |
| ○有機フッ素化合物の実態解明に関する調査研究<br>【平成23～25年度】                                                           | 難分解性・高蓄積性・有害性が懸念される有機フッ素化合物について、県内河川における環境実態・排出源を解明し、健康被害の未然防止につなげる研究をしています。 |
| ○有用植物等を用いた湖沼水質浄化に関する研究<br>【平成23～25年度】                                                           | 窒素・リンの吸収能力が高く食用または観賞用としても有用な植物等を選定し、栽培条件や浄化能力の検討を行い、湖沼水質の浄化に利用できないか研究しています。  |
| ○安定化の促進と安全な跡地利用のための最終処分場の分析評価と基礎技術開発<br>【平成23～25年度】                                             | 埋立が終了した最終処分場の広大な跡地を有効活用することを目指し、北陸地方の気候特性に適した安定化促進方法と、安全な跡地利用法を研究しています。      |
| <b>(2)工業技術センター【地域産業・技術振興課】</b><br>県内産業の活性化に向けた様々な分野の研究開発、環境関連技術の開発                              |                                                                              |
| ○リサイクル炭素繊維による熱可塑性複合材料用繊維素材の開発研究<br>【平成25年度】                                                     | リサイクル炭素繊維と熱可塑性繊維を混合し、物性に優れ、安価に複合材料化できる熱可塑性複合材料用繊維素材を開発します。                   |
| ○大気環境における金属腐食の研究<br>【平成23～25年度】                                                                 | 環境センサを使った腐食性因子を調査するとともに、錆び防止塗料の有効性評価に関する研究を行います。                             |
| <b>(3)建設技術研究センター【土木管理課】</b><br>本県の自然条件および経済社会条件を踏まえ、環境負荷の少ない雪対策技術や自然との共生、リサイクルの推進に対応した建設技術の研究開発 |                                                                              |
| ○凍結防止剤の散布量低減に関する研究<br>【平成23年度～25年度】                                                             | 凍結防止剤の定着性を高めて散布量を減らし、橋などの鋼構造物や環境への影響を少なくします。                                 |
| ○自然エネルギーを利用した融雪における新たな熱交換方式の開発<br>【平成24年度～26年度】                                                 | 地中に埋め込む熱交換杭を安く施工できるようにして地中熱利用システムのコストを縮減し、普及を図ります。                           |
| ○厚さ2cmの薄層舗装を開発し、舗装補修費のイニシャルコストとランニングコストの縮減を図る研究<br>【平成20年度～25年度】                                | 薄く舗装できる材料を開発し、原料である石油資源の消費を減らすとともに、廃材の排出量を少なくします。                            |
| ○廃瓦等を利用した環境負荷低減コンクリートの研究・開発<br>【平成23年度～25年度】                                                    | 廃瓦を混ぜた保水性コンクリートを開発し、廃瓦のリサイクルを図ります。                                           |

|                                                                           |                                                                                                                                                        |
|---------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>(4)農業試験場【水田農業経営課】</b><br>化学合成農薬や化学肥料の使用量を抑えた環境にやさしい農産物の生産・供給のための研究開発   |                                                                                                                                                        |
| ○農薬使用量を削減する安全・安心なウメ防除技術の確立<br>【平成21年度～25年度】                               | ウメ栽培において、黒星病の防除回数および農薬使用量を削減する防除技術体系を確立します。                                                                                                            |
| ○化学農薬を使わずにうどんこ病を防除できるオリジナル生物農薬の開発<br>【平成25年度～27年度】                        | 県内圃場から分離したキュウリうどんこ病の発病を抑制する菌株について、微生物農薬として商品化することによって、環境にやさしい防除技術を確立します。                                                                               |
| <b>(5)総合グリーンセンター【県産材活用課】</b><br>多様な森林の育成や保護管理技術など環境関連技術の研究開発              |                                                                                                                                                        |
| ○人工交配による県産無花粉スギの開発<br>【平成23年度～28年度】                                       | 花粉症軽減対策として、県内精英樹と県外無花粉スギとの人工交配による県産無花粉スギを作出します。<br> 人工交配による無花粉スギの選抜 |
| ○松くい虫抵抗性マツ苗の健全化生産技術の開発<br>【平成23年度～25年度】                                   | 菌根菌を活用して抵抗性マツの苗木を活性化させ良質なマツ苗の生産量を確保します。                                                                                                                |
| ○シカの侵入を防ぐ新型フレームの開発<br>【平成25年度～27年度】                                       | 水平方向の構造物でシカの侵入をブロックする新型の軽量フレームの開発を行います。                                                                                                                |
| ○針広混交林化に向けた天然更新の予測技術の開発<br>【平成24年度～25年度】                                  | 針葉樹と広葉樹の混交林化において、天然の力による更新の可能性を予測するための技術を開発します。                                                                                                        |
| <b>(6)若狭湾エネルギー研究センター【電源地域振興課】</b><br>バイオマスエネルギーに関する研究開発や湖沼の水質浄化に関する研究開発など |                                                                                                                                                        |
| ○バイオ技術による水質浄化研究<br>【平成22年度～平成26年度】                                        | イオン加速器を用いた品種改良による、窒素やリンなどの富栄養化物質を吸収する耐塩性の植物や微生物の開発を行います。                                                                                               |
| ○バイオマスエネルギー技術開発研究<br>【平成22年度～平成26年度】                                      | 木質や農産物残さ等のバイオマスから熱分解反応等により、ジメチルエーテルなどのエネルギーを生成する技術の開発を行います。                                                                                            |

## 2 産学官による研究開発支援【電源地域振興課、地域産業・技術振興課】

県では、嶺南企業等が、原子力・エネルギー分野をはじめ、地域産業の活性化や環境分野に関連して新たに取り組む研究開発を支援しています（公益財団法人若狭湾エネルギー研究センターの「嶺南地域新産業創出モデル事業」による支援）。

○嶺南地域新産業創出モデル事業補助金

- ・カシス果皮を加えた養殖飼料の開発  
【平成24年度～】
- ・放射線照射技術を活用した強化樹脂製品の開発  
【平成25年度～】
- ・さば速醸魚醤を活用した魚の醤油一夜干しの研究開発  
【平成25年度～】

また、公募型の研究開発費を活用して企業や大学が行うヒートパイプの研究開発に、公益財団法人若狭湾エネルギー研究センターが協力しています。

○新エネルギーベンチャー技術革新事業

【NEDO】

- ・気泡駆動型循環式ヒートパイプによる無動力地中熱源活用技術の開発  
【平成23年度～24年度】  
県内外の企業、大学、県が連携し、二酸化炭素を排出しないクリーンで安定したエネルギーに関する研究開発に取り組み、事業化、産業化を目指す「福井クールアース・次世代エネルギー産業化プロジェクト」を推進しています。

国の公募型研究支援制度などを活用し、4つの分

野において産業化を目指した産学官共同研究を実施しています。

- ①EV・電力貯蔵分野（小型EVの専用部材など）  
電気自動車関連産業を創出、高安全、高容量リチウムイオン電池正極材料に関する研究を実施
- ②分散型発電分野（燃料電池など）  
燃料電池用電解質膜、金属セパレータ、太陽光発電テキスタイルの実用化研究を実施

- ③高効率エネルギー利用分野（エネルギーシステム、低炭素交通システムなど）

施設園芸におけるエネルギーシステムの最適化に関する研究を実施

- ④液化燃料製造分野（石油に代わる燃料製造など）  
液化燃料合成プロセスの高効率化に関する基礎研究を実施

### 3 環境関連産業に対する支援【産業政策課、企業誘致課、地域産業・技術振興課】

県では、融資および補助などにより、環境関連ビジネス分野への新規参入や事業拡大に向けた取組みに対して、支援しています。

また、産業支援機関等と連携し、技術開発や経営

支援施策等に関する情報提供や相談・助言、公害防止や環境保全に必要な機械設備導入への支援などを行っています。

表6-2-2 環境関連産業に対する主な支援制度

| 支 援 制 度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 問い合わせ先                                                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| <b>○企業立地促進補助金・企業立地促進資金融資</b><br>製造業、試験研究所等を対象として、県または市町の誘致企業で、投下固定資産額や新規雇用者数等について一定の要件を充足する企業に、補助や融資を行っています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 県企業誘致課<br>企業立地推進グループ<br>電話 0776-20-0375               |
| <b>○専門家派遣事業</b><br>中小企業者の省エネルギーやコストダウンへの取組みを支援するため、専門家を派遣し、診断等を行います。派遣費用の2分の1を負担いただきます（派遣費用の2分の1は支援センターが負担）。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 公益財団法人<br>ふくい産業支援センター<br>ふるさと産業支援部<br>電話 0776-67-7400 |
| <b>○新技術事業化スピードアップ補助金</b><br>本県企業が行う先行的な製品開発等について、技術開発・試作品開発から販路開拓まで一貫して支援します。また、県内小規模企業における技術開発について支援し、今後の福井県産業を牽引していく企業の育成や県内製造業における技術力底上げを図ります。<br>〔補助対象〕 重点支援：県内中小企業者または県内中小企業者を含むグループ<br>早期事業化支援：県内中小企業者<br>小規模企業有望技術発展支援：従業員20人以下の県内小規模企業者<br>〔対象分野〕 重点支援：環境・エネルギー・医療・福祉に関する先行的な研究開発<br>早期事業化支援：企業が持つ先行的な技術の事業化<br>小規模企業有望技術発展支援：小規模企業の技術力向上<br>〔補助率等〕 重点支援…3分の2以内（限度額1件10,000千円以内）<br>早期事業化支援…2分の1以内（限度額1件5,000千円以内）<br>小規模企業有望技術発展支援…3分の2以内（限度額1件1,000千円以内）<br>〔対象経費〕 原材料費、機械装置費等のほか、直接人件費、販路開拓費 | 県地域産業・技術振興課<br>電話 0776-20-0374                        |

## 4 県民・団体・企業等との連携の強化【環境政策課】

## (1) 環境ふくい推進協議会

環境保全活動を推進していくためには、県民、団体、事業者、行政がお互いに協力し合い、取り組んでいくことが重要です。

このため、県では、県民、団体、企業で構成する環境保全ネットワーク「環境ふくい推進協議会」の運営を支援し、情報紙の発行やシンポジウムの開催などを通じ、環境保全に関する意識の啓発を図ってきました。

環境ふくい推進協議会は、県民が一体となって進める環境保全に関する県民運動を実践することを目指すとして、平成6年10月に設立された団体です。協議会では、環境保全活動の輪を広げるための様々な事業を展開しています。

## 環境ふくい推進協議会会員数

(平成25年11月末現在)

|      |         |
|------|---------|
| 企業会員 | 229 社   |
| 団体会員 | 95 団体   |
| 個人会員 | 1,041 人 |

また、環境ふくい推進協議会では、県内における企業、団体、行政等の環境に関する活動や情報の共有を図るため、専用のホームページを開設しています。このページでは、各主体が環境に関するイベント情報やお知らせを自由に掲載、閲覧することができ、情報共有の場として活用しています。

表6-2-3 環境ふくい推進協議会の主な取組み

| 主な取組み            | 平成25年度                                                                             |                                                                     |
|------------------|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 環境保全活動促進<br>協働事業 | 1 環境活動事例発表会<br>2 協議会会長表彰<br>3 ふくいまるごと環境学び舎<br>4 環境バスツアー                            | 5 環境マネジメント推進事業<br>6 市町環境連携事業<br>7 こどもエコクラブ活動促進事業<br>8 ふくい環境貢献活動支援事業 |
| 普及広報事業           | 1 情報誌発行事業「みんなのかんきょう」<br>2 ホームページによる普及広報<br>3 メールマガジンの配信による普及広報                     |                                                                     |
| 県との連携事業          | 1 SATOYAMA国際会議推進連携<br>2 生ごみの減量化とリサイクルの推進<br>3 「おいしいふくい食べきり運動」推進<br>4 「自然再生ふくい」行動推進 | 5 「1市町1エネおこし」推進<br>6 ふくいのおいしい水プロジェクト推進<br>7 福井型環境教育・学習推進            |
| 県補助事業            | 1 環境アドバイザー派遣事業<br>2 ものを大切にする社会づくり事業<br>3 子ども船乗り体験事業                                |                                                                     |

(URL <http://www.kankyou-fukui.jp/kankyou-fukui/skg/>)

図6-2-4 環境ふくい推進協議会ホームページ画面

## (2)環境に関する表彰

県では、地域で様々な環境活動を行っている個人や団体の努力に報いるため、また、今後の活動の励みとしていただくため、積極的に各種表彰制度に推

薦しています。また、応募形式による表彰制度についても、対象者等に情報提供などを行っています。

平成24年度において表彰を受けた個人や団体等は、表6-2-5のとおりです。

表6-2-5 環境に関して表彰を受けた個人・団体・企業・学校（平成24年度）

| 表 彰 名                   | 目 的 等                                                                      | 表 彰 者            | 被 表 彰 者                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 環境美化教育優良校等表彰            | 環境美化に独創的、熱心に取り組み、食品容器の散乱防止やリサイクルの実践教育に優秀な成果のあった小中学校を表彰                     | 社団法人食品容器環境美化協会会長 | 【優良校】<br>坂井市立三国南小学校（坂井市）                                                                                                                                                                                       |
| 環境ふくい推進協議会会長表彰          | 環境保全活動に関し、地道にたゆまぬ努力を続けている個人、団体、学校、企業で、その活動が賞賛に値する者を表彰                      | 環境ふくい推進協議会会長     | 【個人の部】<br>飯塚 貞子（越前市）<br>坂本 明子（坂井市）<br>中野 佐知子（福井市）<br>【団体の部】<br>永平寺川にサケ・サクラマスの上を<br>実現する会（永平寺町）<br>田治きらめきの里協議会（福井市）<br>敦賀海洋少年団（敦賀市）<br>【学校の部】<br>越前市白山小学校（越前市）<br>坂井市立三国西小学校（坂井市）<br>【企業の部】<br>ジビル調査設計株式会社（福井市） |
| 第11回ざぶん賞                | 生命の源である、水に関係した内容の作文・童話・詩・手紙を小中学生から募集し、すぐれた作品について表彰                         | ざぶん賞実行委員会会長      | 【福井県知事賞】<br>坂井市立坂井中学校<br>佐々木 杏子（坂井市）                                                                                                                                                                           |
| 福井県循環型社会形成推進功労者等表彰      | 廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用の適切な推進、廃棄物の収集運搬・処分事業、廃棄物処理技術に関する研究等に顕著な功績があった個人、企業、団体等を表彰 | 福井県知事            | 敦賀おもちゃ病院（敦賀市）<br>鯖江市連合婦人会（鯖江市）                                                                                                                                                                                 |
| 愛鳥週間用ポスター原画コンクール表彰      | ポスターの制作過程を通じて野生鳥類についての保護思想を高めるとともに、愛鳥週間の普及啓発を図るため優秀作品を表彰                   | 福井県知事            | 【知事賞】<br>田中 太樹（鯖江市鳥羽小学校）<br>熊川 美優（坂井市立坂井中学校）                                                                                                                                                                   |
| 生き物百葉箱・自然再生ふくい行動コンクール表彰 | 自然観察および自然再生活動を実施する優秀な団体を表彰                                                 | 福井県知事            | 【最優秀賞】<br>勝山市立荒土小学校（勝山市）<br>あわらの自然を愛する会（あわら市）                                                                                                                                                                  |

## 5 環境情報の整備と提供【環境政策課】

県民や事業者の環境への関心を高め、環境への負荷の低減に向けた取組みを促進していくためには、環境に関する幅広い情報をわかりやすく、迅速に提供することが重要です。県では、インターネットや情報紙など様々な媒体を通じて、環境情報を提供しています。

## (1)「みどりネット」の整備、運用

県では、各種の環境情報をデータベース化し、行政内部での活用にとどまらず、広く県民に提供する「環境情報総合処理システム」を平成12年3月に整備しました。

このシステムは、大気や水質等の環境状況をはじめ、自然環境、土地利用状況、文化財等の環境情報をデータベース化し、地図や表などによりビジュアルに表示するもので、インターネットのホームページ「みどりネット」から利用できます。

みどりネットのアクセス件数（ページビュー）は、次のとおりです。

表6-2-6 みどりネットのアクセス件数

|        | 22年度      | 23年度      | 24年度      |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| アクセス件数 | 6,559,091 | 4,433,508 | 4,016,463 |



横断的・基盤的な  
施策の推進



## (2)環境月間中のイベント情報提供【環境政策課】

環境基本法に定められた6月5日の「環境の日」を中心とする6月の1か月間は、「環境月間」とされています。県においても、県民の環境問題への関心と

理解を深め、環境の保全に関する活動を行う機会とするため、6月を中心に様々な行事を実施するとともに、環境に関する行事を取りまとめ、ホームページ等で紹介しています。

表6-2-9 平成25年度「環境月間」の主な実施行事 テーマ「県民の手で守り育てる福井の環境」

## 【県民参加行事】

| 行 事 名                            | 実施主体(所管)                                                   | 内 容                                                                                                              | 実 施 日                                           | 実 施 場 所            |
|----------------------------------|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|--------------------|
| 「SATOYAMA国際会議2013 inふくい」プレシンポジウム | 環境政策課<br>NHK福井放送局                                          | 本年9月の「SATOYAMA国際会議2013 inふくい」の本県開催を記念して、福井の里山の“いま”と“これから”について考えるシンポジウムを開催する。                                     | 6/15(土)                                         | 福井県国際交流会館          |
| 里地里山地域資源ネットワーク交流会                | 自然環境課                                                      | 里地里山の保全活動に携わる方との交流をととして、活動のレベルアップと、連携の輪の拡大を目指す。                                                                  | 6/1(土)                                          | 福井市民福祉会館           |
| SATOガール・SATOボーイ育成プロジェクト          | 環境政策課                                                      | 若者を対象とした、農業、林業、漁業、伝統工芸などの実体験をととし、楽しみながら、福井の里山の魅力、保全の必要性を学べる講座を実施する。                                              | 6/8(土)<br>6/23(日)                               | 勝山市北谷地区<br>越前市坂口地区 |
| カー・セーブデーの実施                      | 交通まちづくり課                                                   | 過度なクルマの利用を控え、公共交通機関や自転車等の利用促進および二酸化炭素の排出量削減のため、毎週1回を目標に「カー・セーブデー」を実施し、全県的に推進を図る。                                 | 毎週金曜日                                           | 県内全域               |
| クールビズの実施                         | 環境政策課                                                      | 冷房28℃と軽装（ノー上着、ノーネクタイ）勤務を実施する。                                                                                    | 5/20(月)<br>～9/30(月)                             | 県内全域               |
| クリーンアップ<br>ふくい大作戦                | 県、市町、<br>環境ふくい県民会議、<br>環境ふくい推進協議会、<br>(社)あすの福井県を創<br>る協会 等 | 環境月間中の第1日曜から第2日曜を統一行動期間として、各市町が設定する拠点地区や居住地周辺、工場・事業場周辺等の一般地区において清掃、草刈、植栽、花だんづくりを行うなど、県民、各種団体、行政が一体となって美化活動を実施する。 | 統一行動期間<br>6/2(日)<br>～6/9(日)<br>(季節ごとに<br>年4回実施) | 県内全域               |
|                                  | 県、市町<br>清掃活動実施団体<br>等                                      | 広く関係者が協力して、ごみの持ち帰りの呼びかけを行うとともに、一斉清掃を実施する。                                                                        | 環境月間中                                           | 県内の自然公園            |
|                                  | 県、県漁連                                                      | 漁港傘下の組合員、行政等が一体となって海面および海岸の一斉清掃を実施し、漁港・漁場環境の保全と地域の美化に貢献する。                                                       | 環境月間中                                           | 県内全漁港、漁港<br>区域の海岸  |

| 行 事 名                   | 実施主体(所管)             | 内 容                                                                               | 実 施 日                 | 実 施 場 所       |
|-------------------------|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|---------------|
| 第3回みどりと花の県民運動大会 in 勝山市  | 県、勝山市、(公社)福井県緑化推進委員会 | 第60回全国植樹祭を契機に展開している「緑と花の県民運動」を推進するため、緑や花に関する功労者の表彰、県民が森や花に対しての理解を深める自然体験ツアーを実施する。 | 6/2(日)                | 勝山市(かつやま恐竜の森) |
| 緑と花の教室                  | 総合グリーンセンター           | 花壇づくりの講習会を開催するとともに、手づくりフラワープランター苗育成、環境にやさしい木製プランターカバーを製作し、展示する。                   | 6/9(日)                | 総合グリーンセンター    |
| 花のスクールステイ               | 総合グリーンセンター           | 花と緑にあふれるふるさと活動(花のスクールステイ)にて、スクールステイ花苗の育成指導を行う。                                    | 環境月間中                 | 総合グリーンセンター    |
| グリーンカーテンの上手な作り方講座       | 県立図書館                | 暑い夏をエコに過ごすため、グリーンカーテンの正しい作り方を学ぶ。                                                  | 6/15(土)               | 県立図書館         |
| 天体観望会                   | 自然保護センター             | 天体の観望、季節の星座の学習をとおして、自然環境についての理解を深める。                                              | 環境月間中                 | 自然保護センター      |
| 自然観察会                   | 自然保護センター             | 県内各地の自然について観察会を実施し、自然環境についての理解を深める。                                               | 環境月間中                 | 県内全域          |
| スノーケリング指導者養成講座          | 海浜自然センター             | 海の自然環境の理解を深めるためのスノーケリング教室の指導者を養成する。                                               | 6/29(土)～6/30(日)       | 海浜自然センター      |
| 自然観察指導者養成講座             | 海浜自然センター             | 海の自然環境の理解を深めるための観察会等の指導者を養成する。                                                    | 6/8(土)～6/9(日)         | 海浜自然センター      |
| 自然環境学習講座                | 海浜自然センター             | 三方湖周辺の生き物観察を行い、外来種が自然環境へ及ぼす影響を学ぶ。                                                 | 6/22(土)               | 福井県若狭町        |
| 環境科学体験デー 衛生環境研究センター一般公開 | 衛生環境研究センター           | 環境に関する体験、見学、研究紹介を行うとともに、施設の見学希望者には施設の公開と、業務内容の説明を行う。                              | 6/22(土)(施設公開は環境月間の平日) | 衛生環境研究センター    |

分野別施策の実施状況

## 【普及啓発事業】

| 行 事 名                   | 実施主体(所管)     | 内 容                                          | 実 施 日 | 実 施 場 所      |
|-------------------------|--------------|----------------------------------------------|-------|--------------|
| 広報活動                    | 広報課<br>環境政策課 | 新聞、テレビ、各種広報紙、ポスター等で月間の趣旨や、環境美化に対するPRを実施する。   | 環境月間中 | 県内全域         |
| 環境意識啓発パネル展              | 福井健康福祉センター   | 環境問題に関するパネル等を展示し、意識の高揚、啓発を行う。                | 環境月間中 | 福井健康福祉センター   |
| 展示(くらしにeco! わたしの節約スタイル) | 県立若狭図書学習センター | 資源、エネルギー問題、食糧事情などの問題に対し、今できることを再確認する本の特集を行う。 | 環境月間中 | 県立若狭図書学習センター |

横断的・基盤的な施策の推進

## 【監視・指導強化】

| 行 事 名    | 実施主体(所管) | 内 容                                       | 実 施 日   | 実 施 場 所    |
|----------|----------|-------------------------------------------|---------|------------|
| 環境パトロール  | 循環社会推進課  | 工場、事業場、廃棄物処理施設、畜産施設、道路、河川、海岸等のパトロールを実施する。 | 環境月間中   | 県内全域       |
|          | 自然環境課    | 自然公園およびその周辺の違法行為等の監視を行う。                  | 環境月間中   | 越前加賀海岸国定公園 |
| スカイパトロール | 県警生活環境課  | 県警ヘリにて廃棄物の不法投棄等発見のための監視パトロールを実施する。        | 6/12(水) | 県内全域       |
| 環境犯罪取締り  | 県警生活環境課  | 廃棄物の不法投棄、野外焼却事犯等の取締りを実施する。                | 環境月間中   | 県内全域       |

## (3) 刊行物

## 【環境政策課、循環社会推進課、自然環境課】

水、大気、自然、廃棄物等の様々な環境の課題や、県の取組み等について、情報紙やパンフレット等の

刊行物の作成・配布を行い、環境に関する情報を提供しています。また、これら刊行物の一部は、県や環境ふくい推進協議会のホームページ、みどりネットにも掲載しています。

表6-2-10 平成24年度 環境関連刊行物

| 刊行物の名称                         | 発行状況          | 頁 数      | 発行部数                    | 備 考                 |
|--------------------------------|---------------|----------|-------------------------|---------------------|
| みんなのかんきょう                      | 年2回<br>63～64号 | 16<br>20 | 3,000<br>3,000          | 環境ふくい推進協議会<br>情報紙   |
| 平成24年度版 環境白書                   | 年 1 回         | 153      | 700                     |                     |
| 平成24年度版 環境白書（資料編）              | 年 1 回         | 111      | 150                     |                     |
| 平成23年度 公共用水域および地下水の水質の測定結果報告書  | 年 1 回         | 106      | 150                     |                     |
| 平成25年度 公共用水域および地下水の水質の測定に関する計画 | 年 1 回         | 48       | 150                     |                     |
| 産業廃棄物の適正処理と減量化・リサイクルのためのテキスト   | 随時            | 18       | 2,000                   |                     |
| 福井県認定リサイクル製品パンフレット             | 年 1 回         | 9        | 1,200                   |                     |
| 平成23年度衛生環境研究センター年報             | 年 1 回         | 146      | 350                     |                     |
| 衛環研だより第11号、第12号                | 年 2 回         | 4        | Web配信                   |                     |
| 平成24年度福井県鳥獣保護区等位置図             | 年刊            | 図1枚      | 2,400                   |                     |
| ナチュラリスト                        | 年3回<br>66～68号 | 12       | 2,300<br>2,300<br>2,300 | 自然保護普及啓発誌           |
| 平成23年度年報（福井県自然保護センター）          | 年刊            | 49       | 500                     | 福井県自然保護センター<br>事業概要 |
| 海遊（活動の記録）第13号                  | 年刊            | 30       | HPで公開                   | 福井県海浜自然センター<br>事業概要 |
| 自然保護センター・海浜自然センター行事案内          | 年刊            | 2        | 10,000                  |                     |
| 平成24年度カレンダー                    | 年刊            | 1枚       | 3,200                   |                     |
| 福井県自然保護センター研究報告「キコニア第17巻」      | 随時            | 44       | 550                     |                     |
| 海浜自然センターリーフレット                 | 随時            | 2        | 20,000                  |                     |
| 天体観測ガイド「夏」                     | 随時            | 4        | 6,000                   |                     |
| 自然保護センターリーフレット                 | 随時            | 2        | 7,000                   |                     |

#### (4)公害苦情【環境政策課】

平成24年度に、県、市町および県警察本部が受け付けた公害に関する苦情件数は、754件であり、前年度に比べ66件減少しています。

典型7公害に関する苦情は528件であり、公害の種類別にみると、大気汚染が最も多く、以下、水質汚濁、悪臭、騒音、振動と続いています。

典型7公害以外の苦情は226件であり、廃棄物の不法投棄に関する苦情が136件と最も多くなっています。

また、苦情件数を発生源別にみると、会社・事業所に対する苦情が238件であり、家庭生活の苦情など個人に対する苦情は258件でした。

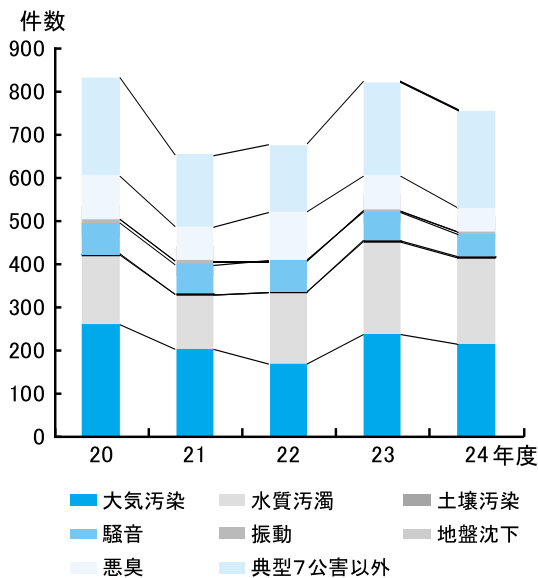


図6-2-11 公害の種類別苦情件数の推移

#### (5)公害紛争処理【環境政策課】

通常の公害苦情の処理では解決できない公害に関する紛争を迅速かつ適正に解決するため、裁判所による司法的解決とは別に、「公害紛争処理法」に基づいて県に公害審査会が設置されています。

福井県公害審査会は、医師、弁護士、公衆衛生の専門家等の学識経験者12人で構成され、あっせん、調停、仲裁の手続きを行います。

平成24年度において、福井県公害審査会に係属した事件はありませんでした。

#### (6)公害事犯の取締り【環境政策課】

警察および海上保安庁では、県民の健康保護と生活環境保全のため、環境関係法令に基づき取締りを実施しています。

平成24年中に検挙した公害事犯の件数は、27件であり、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に違反したものが26件、「海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律」に違反したものが1件でした。